

ONS15800 SCF と IOC-W における空スロットのリモートおよびオンサイトのトラブルシューティング チェックリスト

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[トラブルシュート](#)

[リモートサイトの情報収集](#)

[リモートCMPデバッグ](#)

[IOCおよびSCFカードのトラブルシューティング \(これらの操作はトラフィックに影響を与えない\)](#)

[オンサイトのチェックリスト](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco ONS15800 Subrack Common Function (SCF) および入力出力カード (IOC) -W の高密度波長分割多重 (DWDM) プラットフォームの空きスロットをトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco ONS 15800 DWDMプラットフォーム
- WIN 95、98、2000搭載PC
- イーサネットカード

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

トラブルシュート

リモートサイトの情報収集

次のステップを実行します。

1. Transaction Language 1(TL1)ポート(1000)で発行された空のスポットを示すノードへの Telnetセッションを開きます。
2. TL1ユーザACT-USER::USER_1:CEST::USER_1をアクティブにします。
3. RTRV-EQPT::ALL:CESTと入力し、サイトインベントリを取得します。
4. RTRV-VER::ALL:CESTと入力して、インストールされたユニットのファームウェア(FW)のバージョンを取得します。
5. RTRV-UPTIME::CMP_W-01-01-15:CESTと入力して、Control and Monitoring Processor(CMP)ユニットの稼働時間を取得します。
6. データをファイルに保存します。ファイル名表記:ファイル名に、データの収集元のノードへの参照が含まれていることを確認します。たとえば、NewYokTERM(151.15)Inv.txtのようになります。
7. 必要に応じて、対応するTechnical Assistance Center(TAC)サービスリクエストに情報を添付 (またはコピーアンドペースト) します。

リモートCMPデバッグ

次のステップを実行します。

1. ログ機能を使用して、Telnet端末のファイルへのログ機能を有効にします。
2. ポート5678のCMPカードに接続するようにTelnet端末を準備します。これを行うには、接続を待機している間にIPアドレスを挿入します。
3. コマンドプロンプトまたはターミナルウィンドウから、同じノードへの連続pingシーケンスを開始します。たとえば、Windowsのコマンドプロンプトからping xxx.xxx.xxx.xxx -tと入力します。
4. CMPカードをリセットします。たとえば、ポート23の別のTelnetセッションからROOTプロファイルでログインし、resetコマンドを入力するか、Cisco Photonics Local Terminal(CPLT)を使用します。
5. ノードからのping応答を監視します。
6. ノードがping要求への応答を開始するときに、ポート5678でTelnetセッションを開きます。ALLONコマンドを入力し、B1メッセージトレースを有効にします。**重要：ノードが最初のpingに応答するとすぐに、ポート5678のログトレースを有効にします。**
7. CMPカードの完全なリブートを待つ間、3 ~ 4分間のログエントリを収集します。
8. データをファイルに保存します。ファイル名表記:ファイル名に、データの収集元のノードへの参照が含まれていることを確認します。たとえば、NewYokTERM(151.15)C8などです。
9. ALLOFFコマンドを発行して、Telnetセッションを閉じ、ノードへのping要求を終了します。
10. 必要に応じて、対応するTACサービスリクエストに情報を添付 (またはコピーアンドペースト) します。

IOCおよびSCFカードのトラブルシューティング (これらの操作はトラフィックに

影響を与えない)

前提:該当するカードを回復できない場合は、必ずスペアユニットを使用してください。

SCFカード

次のステップを実行します。

1. CMPディスプレイのステータスを確認します。
2. SCFユニットが挿入されているサブラックからファントレイの1つを取り出します。
3. 対応するファンアラームLEDをチェックして、SCFユニットがオンになっているかどうかを確認します。最初のファントレイでLEDが点灯しない場合は、他のトレイをチェックしてLEDの問題を排除します。
4. SCFユニットを物理的に取り付け直します。
5. CMPカードの表示が点滅するかどうかを確認します。
6. 最終ステータスが表示されるかどうかを確認します。
7. ユニットのステータスが依然として空の場合は、CMPカードを装着し直します。
8. CMPが表示する最終的なステータスを確認します。
9. SCFをアクション4または7で回復できない場合は、SCFを交換してください。
10. アクション4、7、または8でSCFカードを回復する場合は、FWバージョンを再確認します。フィールドエンジニアがまだ現場にいる間、シスコの公式アップグレード手順を適用します。
11. アクション4、7、または8で問題が解決した場合は、該当するTACサービスリクエストに情報を添付 (またはコピーアンドペースト) してください。詳細については、「[On Site Checklists](#)」セクションを参照してください。
12. 新しいSCFユニットがまだ空のスロットステータスである場合は、Cisco TACに問い合わせ、サポートを依頼してください。

IOC-Wカード

次のステップを実行します。

1. CMPディスプレイのステータスを確認します。
2. IOC-Wユニットを物理的に取り付け直します。
3. CMPカードの表示が点滅するかどうかを確認します。
4. 最終ステータスが表示されるかどうかを確認します。
5. ユニットのステータスが依然として空の場合は、CMPカードを装着し直します。
6. CMPの最終的なステータスを確認します。
7. IOC-Wをアクション2または5で回復できない場合は、IOC-Wを交換してください。
8. アクション2、5、または7のIOC-Wカードを正常に回復した場合は、FWバージョンを再確認します。フィールドエンジニアがまだ現場にいる間、シスコの公式アップグレード手順を適用します。
9. アクション2、5、または7で問題が解決した場合は、該当するTACサービスリクエストに情報を添付 (またはコピーアンドペースト) してください。詳細については、「[On Site Checklists](#)」セクションを参照してください。
10. 新しいIOC-Wユニットが依然として空のスロットステータスである場合は、Cisco TACに連絡してサポートを受けてください。

オンサイトのチェックリスト

SCFオンサイトチェックリスト :	
ノード名 :	ノードIP:
SCFロケーション (サブラック/スロット):	Date:

1. CMPの初期ステータス : _____
2. 1つまたは複数のファントレイを抽出します。
3. SCFを物理的に取り付け直します。CMPカードの点滅を行います。はい いいえ CMPの最終ステータスは何ですか。 _____
4. 手順3:SCFの可視性を「回復」しました。はい いいえ
5. ステップ3:SCFの可視性を「回復」した場合 : SCF FWバージョンを確認し、アップグレード手順を適用します。このモジュールをCisco TACサービスリクエストに送信/同封/添付します。
6. ステップ3:「DID NOT RECOVER」の場合、SCFの可視性は次のようになります。CMPを装着し直します。CMPの最終ステータスは何ですか。 _____
7. ステップ6.a SCFの可視性を「回復」しましたか。はい いいえ
8. ステップ6.a 「RECOVERED」の場合、SCFの可視性は次のようになります。SCF FWバージョンを確認し、アップグレード手順を適用します。このモジュールをCisco TACサービスリクエストに送信/同封/添付します。
9. ステップ6.a 「DID NOT RECOVER」の場合、SCFの可視性は次のようになります。SCFカードを交換します。
10. ステップ9.a SCFの可視性を「回復」しましたか。はい いいえ SCF FWバージョンを確認し、アップグレード手順を適用します。このモジュールをCisco TACサービスリクエストに送信/同封/添付します。
11. ステップ9.a 「DID NOT RECOVER」の場合、SCFの可視性は次のようになります。Cisco TACに連絡してサポートを求めてください。

IOC-Wのオンサイトチェックリスト :	
ノード名 :	ノードIP:
	Date:

1. CMPの初期ステータス : _____
2. IOC-Wを物理的に取り付け直します。CMPカードが点滅しますか。はい いいえ CMPの最終ステータスは何ですか。 _____
3. ステップ2:IOC-Wの可視性を「回復」しましたか。はい いいえ
4. ステップ2:IOC-Wの可視性を「回復」した場合 : IOC-W FWバージョンを確認し、アップグレード手順を適用します。このモジュールをCisco TACサービスリクエストに送信/同封/添付します。
5. ステップ2:「DID NOT RECOVER」の場合、IOC-Wの可視性は次のようになります。CMPを装着し直します。CMPの最終ステータスは何ですか。 _____
6. ステップ5.a IOC-Wの可視性を「回復」しましたか。はい いいえ
7. ステップ5.a 「RECOVERED」の場合、IOC-Wの可視性は次のようになります。IOC-W

FWバージョンを確認し、アップグレード手順を適用します。このモジュールをCisco TACサービスリクエストに送信/同封/添付します。

8. ステップ5.a 「DID NOT RECOVER」の場合、IOC-Wの可視性は次のようになります。IOC-Wカードを交換します。
9. ステップ8.a IOC-Wの可視性を「回復」しましたか。はい いいえ IOC-W FWバージョンを確認し、アップグレード手順を適用します。このモジュールをCisco TACサービスリクエストに送信/同封/添付します。ステップ8.a 「DID NOT RECOVER」の場合、IOC-Wの可視性は次のようになります。Cisco TACに連絡してサポートを求めてください。